

第7回 伊勢原市総合計画審議会 会議録

〔開催日時〕 令和4年8月8日（月） 14時から15時05分

〔開催場所〕 伊勢原市役所 全員協議会室

〔出席者〕

（委員） 勝田会長、北川職務代理

赤星委員、秋澤委員、大川委員、大谷委員、小川委員、小嶋委員、佐伯委員、菅原委員、高橋委員、竹村委員、田中委員、長荒委員、西村委員、森委員、吉川委員

（欠席者） 2名

（事務局） 山室企画部長、瀬尾経営企画課長、鈴木主幹(兼)係長、田伏主任主事、吉川主事

〔公開可否〕 公開

〔傍聴者数〕 3名

《審議の経過》

■議題1 総合計画審議会(第6回)の意見と回答について

（会長）意見と回答で「ご意見を踏まえ、現在の案をベースに伊勢原の「本物」の自然や歴史を内外に発信できるフレーズを加えていきたいと考えますので、引き続き検討を進めます。」との説明がありましたが、「本物」というのはどのような意味でしょうか。

（事務局）伊勢原には、都会での作られた緑ではなく、丹沢大山国定公園という本当の大自然が広がっているため、「本物」という言葉を使いたいと思っています。歴史については、県内でも鎌倉・箱根に次ぐ歴史文化の宝庫で、特に日向薬師には10の国指定重要文化財があり、こんなに文化財があることはめったにないため、本物の歴史と言えらと思います。

（会長）「本物の自然と歴史」というのは、ニュアンスが難しいと感じます。自然については、里山など人が関わる場所も自然ですが、原生林もまた自然といえます。そうすると「本物」の自然というと何なののでしょうか。また、「本物の歴史」についても、先ほど歴史文化の宝庫と言っていましたが、その方が分かりやすいと思います。

(委員) 全体として抽象的なお願いになりますが、言葉がありきたりで無難、いかにも役所的にまとまっていると感じます。「大山」という言葉だと大山地区に偏っていると誤解されるから使わないという説明がありましたが、インパクトを取れる言い回しもありではないかと感じます。分かりやすい例でいうと、神奈川では「マグネット神奈川」で魅力ある、ひきつけるという意味を持たせています。例えば、「パワースポット伊勢原」とか「パワースポット日向」など、夢、希望を与えるような、目を引くような考えを持ってほしいです。言葉に遠慮しない方が夢と希望を描けると思います。

(事務局) 引き続き将来都市像を検討して参ります。

(会長) 消防・救急の施策の説明にあった「地域を持たない女性団員」というのは为什么呢。

(事務局) 本市の女性消防団員は、人数がそこまでいないため、市内全域にわたって活動していくことから、「地域を持たない」としています。

(会長) 女性消防団と男性消防団を区別するのは、今の時代だと良くないと考えます。

(委員) 過去に女性消防団を設立する際に、女性の場合は家庭等があつて、なかなか人員が集まらなかった経緯があります。当時はまだ、女性は家庭や子育てなどで頼られてきたことから、差別したわけではないと思います。将来的には女性団員といわなくても良くなるのが理想だと思います。

■議題2 基本構想（修正案）について

(質問なし)

■議題3 前期基本計画（修正案）について

(会長) 基本計画の進行管理に記載する「PDCAサイクル」について、分からない人もいると思うので、注釈等を少し加えた方が良いと思います。

(事務局) 「PDCAサイクル」を含め、意味が分かりづらいものや専門用語については、注釈等の掲載を検討します。